

## 第45回全国中学生テニス選手権大会で包装餅をPR

大坂なおみフィーバーに沸くテニス界でおもち”をアピール！

全国餅工業協同組合は、2018(平成30)年8月18日(土)～24日(金)に広島広域公園テニスコート(広島市安佐南区)で行われた第45回全国中学生テニス選手権大会にブース出展し、“スポーツとお餅の深い関係”を伝えて、包装餅のプロモーション活動を行いました。



7月初旬に甚大な豪雨災害に見舞われた広島市内には、まだ至る所に災害の傷跡が残り、復興作業が続けられていました。テニス大会自体も猛暑の影響が懸念される中、選手たちの健康を最優先に考え、慎重な運営体制が敷かれていました。

私たち全餅工も、その一助となるべく、スポーツ時の栄養補給源として適したおもちの現物を携えて現地入りしました。

大会には、全国から男女計64チーム、700名以上の選手が参加。会場となった広島広域公園は、アジア・オリンピック評議会が主催する「第12回アジア競技大会」の開催を機に1990年代に広島市郊外に建設された広大なスポーツ施設で、屋内外に20面の本格的なテニスコートが整備されています。

大会に先立ち、センターコートで行われた開会式では、メインスタンドで大勢のご家族や関係者が見守る中、入場行進や選手宣誓が行われ、団体戦(8/18～20)と個人戦(8/21～24)の一週間の熱闘の火蓋が切られました。

また、同日には引率教諭連絡会議が開かれ、全餅工から各チームへ選手及び監督向けに切り餅セット(切り餅パック・リーフレット・ティッシュ・手提げ袋)を配布させて頂きました。



連絡会議の席上では、選手たちの無意識下でのドーピングの危険性について言及され、日頃からの栄養補給でサプリメントに頼らないように注意喚起が行われました。私たち全餅工が推奨する「おもちによるカーボローディング」は安心安全な自然食品による栄養補給であり、今後もさまざまな分野のスポーツ選手たちへ自信を持って推奨できるものだと確信しています。

さらに開会式当日には、センターコート施設内の正面入口付近に全餅工ブースを設置し、おもちとスポーツの愛称の良さやおもちの魅力についてパネル展示するとともに、切り餅セットや餅カーボ漫画チラシのサンプリング活動を行いました。



### ここでも“OSAKAフィーバー”が...

大会は一週間の試合日程を無事に終えて終了。団体戦では、男子が3年連続3回目出場の「浪速中学校」(大阪)、女子は3年連続13回目出場の常連校「城南学園中学校」(大阪)が優勝し、みごと大阪勢がダブル優勝となりました。テニス界で“OSAKA”といえば、ご存じ大坂なおみ選手。この全国中学生テニス選手権大会の直後に米国で行われた四大大会の一つ「全米オープンテニス」では、大坂なおみ選手が日本勢としてみごと初優勝を果たし、国民のテニスに対する関心は一層高まるばかりです。

大坂選手は全米オープンの本戦トーナメントで、8月31日からの僅か10日間で6試合を行うという過酷な試合日程を消化。このような強靱な体力を身につけるためにも、全国のテニス選手たちにおもちによるカーボローディングの実践を働きかけていきたいと考えています。

全国餅工業協同組合では、このようなスポーツ協賛活動等を通して、包装餅がスポーツ時に効果的な食べ物であることを広めるとともに、ニッポンの若者の未来を全力で応援していきます。

